

科目名	生涯発達心理学 Life-span Developmental Psychology		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次後期	科目区分	専門支持科目		選択区分	必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	看護の対象が誕生から死に至るまで成長発達のな変化を遂げる人であると考え、ライフサイクルの各段階に特徴的にみられる心理や行動について理解を深めることは、看護を学ぶ上で不可欠であろう。この授業では、人間を受精から死に至るまで、生涯にわたって発達の变化を続ける存在として位置づけ、環境との関わりの中で、さまざまな心的機能がどのように発達の变化を遂げていくか理解を深める。その中で、ライフサイクルの各段階に応じた看護の必要性について意識を高め、生涯発達心理学の知見を看護方法の中でどのように活用するか考える。											
ディプロマポリシー(DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達の視点を身につけることができる。 2. 発達心理学に関係する諸理論について理解する。 3. ライフサイクルの各段階の特徴について理解する。 4. それぞれの発達段階におけるメンタルヘルス不全について理解する。 5. ライフサイクルの各段階の特徴に応じた看護者の関わりについて意識を高める。 											
成績評価方法(基準)	期末試験(100%)											
再試験の有無と基準等	再試験有り。期末試験と同じ方法で実施する。											
教科書	二宮・宮沢・大野木編集：ガイドライン生涯発達心理学(第2版) ナカニシヤ出版											
参考書等	必要に応じて適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	誰もが発達の途上にあります。授業の枠を越えて、発達に伴うさまざまな変化に関心を向け、主体的に取り組んでください。											
備考	適宜、視聴覚教材を用いる予定です。											
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法			
1回	イントロダクション			看護におけるさまざまな患者とのかかわりの際に、人を生涯発達し続ける存在と位置づけ、そのような視点を身につけることの意義について考える。				小池	講義			
2回	成長・発達・成熟とは			成長、発達、成熟などの用語の整理を行う。また、発達区分や発達課題についての理解を深める。				小池	講義			
3回	生涯発達心理学の研究手法			心理学の研究手法と発達心理学に特異的な研究方法について学ぶ。				小池	講義			
4回	発達心理学の諸理論			発達心理学に関係する諸理論について学ぶ。				小池	講義			
5回	受胎から誕生まで			胎児および人としての誕生について学ぶ。胎内環境、胎児に影響する要因、誕生時におけるヒトの特殊性などについて理解を深める。				小池	講義			
6回	乳幼児期①			乳幼児期の特徴について学ぶ。乳児の個体差、能力、愛着の形成などについて理解を深める。				小池	講義			
7回	乳幼児期②			第6回に引き続き、認知発達、性心理の発達、あそびの発達などから、乳幼児期の特徴について理解を深める。				小池	講義			
8回	児童期			児童期の特徴について学ぶ。認知発達、社会性の発達など児童期に特徴的にみられる現象を紹介しながら、児童期についての理解を深める。				小池	講義			
9回	思春期・青年期①			思春期について学ぶ。思春期の特徴として、第二性徴にともなう身体的変化とその受け入れ過程について理解を深める。				小池	講義			
10回	思春期・青年期②			青年期の発達課題としての自我同一性を中心に、受講生自らが直面している状況と照らし合わせながら、青年期についての理解を深める。				小池	講義			
11回	成人期			成人期の特徴について学ぶ。生物学的な成長の一応の完成を迎えた後、成人としてさまざまなライフイベントに関わる中で生じる諸問題について取り上げ、成人期についての理解を深める。				小池	講義			
12回	中年期			中年期の特徴について学ぶ。特に、加齢に伴う身体的変化、中年期危機など中年期の発達段階に直面する諸問題を取り上げ、中年期についての理解を深める。				小池	講義			
13回	老年期			老年期の特徴、発達課題、適応パターンなどなどについて学ぶ。				小池	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
14回	死について	人が成長・発達していく過程で死の問題は避けられない。死をどのように捉え、向き合っていくか考える機会とする。	小池	講義
15回	まとめ	各発達段階と関連して生じやすいメンタルヘルス不全などを紹介しながら、それぞれの発達段階について振り返る。	小池	講義

学 習 課 題

第6回課題（事前）：乳幼児期の発達課題について調べる。
 第8回課題（事前）：児童期の発達課題について調べる。
 第10回課題（事前）：青年期の発達課題について調べる。
 第11回課題（事前）：成人期の発達課題について調べる。
 第12回課題（事前）：中年期の発達課題について調べる。
 第13回課題（事前）：老年期の発達課題について調べる。

実務経験を活かした教育の取組